

緑の風



令和5年11月9日(木)
流山市立おおぐろの森中学校
第2学年 学年通信
(文責 寶未 輝)

芸術の秋～合唱コンクール・けやき祭～

今年度の合唱コンクールは、金賞5組、銀賞2組という結果になりました。結果や当日の様子はホームページにも掲載されていますので、今回は、合唱コンクール当日までの2年生の取り組みについて紹介したいと思います。

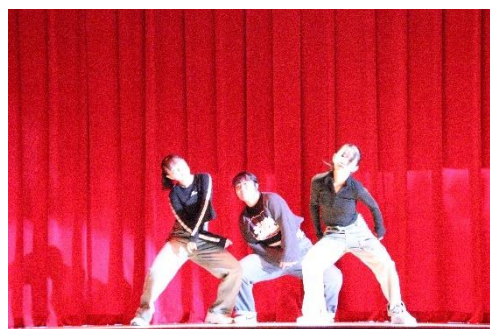
合唱委員、指揮者、ピアニスト、パートリーダー、音取り担当の生徒たちが中心となり、昨年度の経験を活かしながら、より完成度の高い合唱をするにはどのようにすればいいのか自分たちで考え、取り組みました。ホームルームの時間ぎりぎりまで合唱練習に取り組むクラスもあり、最後の1週間では、よりよい合唱をつくりあげようとの学級も熱のこもった練習をしていました。担任が不在の学級や、学級閉鎖になり、限られた時間の中で練習をしなければならない学級もありました。そのような状況でも、自分たちで気持ちを高め取り組んでいる姿が素晴らしかったです。

また、金賞・銀賞という結果だけでなく、個々の貢献方法をそれぞれが考え、実践してきたことが、より一層クラスの一体感をつくり出しました。日々の生活の様子を見ていて、新たな交友関係が生まれたり、お互いを認め合ったりするような姿が増えたと感じます。さらに、学級、学年の垣根を越えて、合唱交歓会を積極的に行い、お互いを高め合いました。当日の合唱コンクールを終えたあとも、仲間をたたえ合う姿が印象的でした。これも、合唱コンクールを経て、生徒が生み出した雰囲気だと感じます。

ある学級で、生徒たちに「歌は誰のために歌うのか?」と聞いたところ、「自分のため」「仲間のため」「みんなのため」という声が上がりました。合唱の意義や目的を調べてみると、「調和の心を育むこと、合唱を楽しむこと」とあります。彼らが音楽を通じて自己表現と共感することを大切にしているということを感じました。



けやき祭でも、吹奏楽部、総合文化部や新旧生徒会のメンバー、個人発表の部で素晴らしい発表が行われました。学年全体でお互いを尊重し合い、多様性を受け入れる姿勢があるからこそ生まれたものではないかと思います。全校生徒の前で、自分の特技を発揮でき、それらを温かく受け入れることができる姿勢が2学年にあるように感じます。来年度も新たなチャレンジをしてほしいと思います。



～期末テストに向けて～

いよいよ、2学期の期末テストが迫っています。期末テストは、11月16日(木)、17日(金)に実施されます。日ごろの授業を大切にしながら学習してほしいと思います。今回のテストでも自分自身の目標に対する意識を高め、自分の力を最大限に発揮してほしいと思います。緊張感を持ち、来年度のことも少しずつ意識しながら、自分で一日の計画を立て、そのリストをもとに、計画的に実行していけるような勉強を心がけ、習慣化できるようにしてほしいです。授業や、自主学習の中で生まれた質問はためらわずにどんどん友人や教科担任に聞いて、力をつけて伸ばしてほしいです。

～キャリア学習!～

11月の総合学習の時間では、キャリア学習をメインに取り組んでいきます。10月には、千葉県にある、会社の概要やセールスポイントを比較し、まとめ、学級と学年で発表しました。また、生徒にどのような職業をしている人に話を聞きたいかアンケートを実施しました。そのアンケートを基に、12月はゲストスピーカーを呼び、職業について聞く時間を設けます。自分たちの将来の夢や、やってみたいことへの良い刺激になるようにしたいです。

また、後期からは2学年が各委員会で、全校生徒の代表となります。選ばれた生徒は、自分のマニフェストを実現できるように責任感を持って全校を引っ張ってほしいと思います。